

# 地域づくりを支える道路空間再編・利用の展開

(研究期間：平成25～29年度)



社会資本マネジメント研究センター  
 緑化生態研究室 (研究官 (博士(工学))) 西村 亮彦 室長 舟久保 敏

(キーワード) 道路空間再編、空間再配分、道路空間の利活用、地域づくり、まちづくり

## 1. はじめに

近年、少子高齢・人口減少社会の本格的な到来をはじめ、わが国の都市をとりまく社会情勢が大きく変化中、市街地の道路空間について、空間再配分や多目的利用を通じて、多様な機能をバランス良く発揮させることが求められている。そこで、2014年度より全国各地における道路空間再編事例の収集に取り組み、近年みられる道路空間再編の傾向を把握するとともに、現場で培われてきたノウハウ・アイデアの蓄積・共有に取り組んでいる。

## 2. 関係者の役割分担に関する整理

2016年度は、地域づくりとの連携を図った取り組みを中心に、各事例におけるステークホルダーの関係性を横断的にレビューし、関係者の役割分担について類型化を試みた。分類の結果、道路空間再編の目標に応じた役割分担のパターンを5つ抽出するとともに、各パターンにおける合意形成・利害調整の留意事項を整理した。(右図)

具体的には、反対する利害関係者が多く合意形成が難しいケース、初期段階から適切なマネジメント体制の構築が求められるケース、関係者の発意があれば比較的容易に事業を進めることができるケース等、役割分担に応じて合意形成の難易度が左右されることが分かった。また、一般的に関係者が増えるにつれて調整に時間を要する傾向が確認された。

## 3. 手引き(案)の作成

行政担当者をはじめとする実務者が道路空間再編を実践するにあたり、関係機関との調整、地元の合意形成、資金確保、デザインの検討、マネジメントスキームの構築等、様々な課題に直面することとなる。そこで、事業の構想・計画から実施・維持管理にいたる各段階における留意事項を整理した「地域

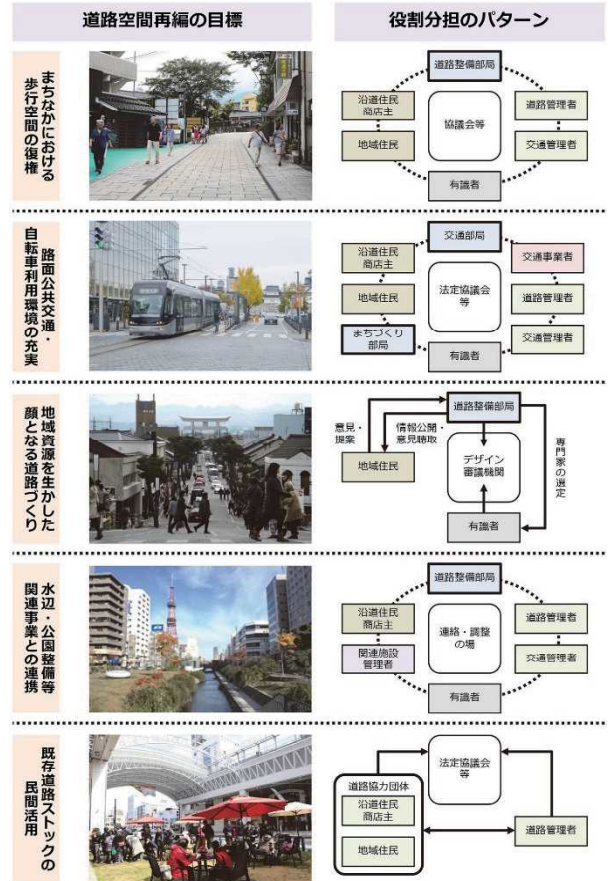


図 道路空間再編における役割分担のパターン  
 づくりを支える道路空間再編の手引き(案)」の作成に取り組んでいる。

また、手引きの付録として、学ぶべきポイントを多数有する国内外の事例を収集・整理した、ベストプラクティス集の作成に取り組んでいる。

## 4. 今後の展開

2017年度は、デザイン上の工夫に着目した図面等の資料収集を行い、計画・設計上の技術的な留意事項を取りまとめた図集の作成を検討している。

### ☞ 詳細情報はこちら

- 1) 西村亮彦, 木村優介, 栗原正夫: 地域づくりに効果的な道路空間の再編・利用手法, 土木技術資料, 58(5), pp. 36-39, 2016.